



きね川日記

2024.5.10
4・5月合併号



きね川福祉作業所内の日々の出来事を毎月お伝えします。



新型コロナウイルスの扱いが5類になってちょうど1年が経過し、今では、電車に乗っていてもマスクをしている人は激減しました。気が付くと「自粛」「マスク」「三密」「コロナ」「感染」の言葉もいつしか聞かなくなり、緊張感の緩みとアフターコロナに対応した生活への構築の狭間で迷いが生じ、集団生活での安全確保の判断を難しく感じています。

さて、令和6年度がスタートしました。新たに昨年の12月に着任した鳥山さん、この4月に着任した吉永さんと佐藤さんも支援に加わり、新しいきね川福祉作業所の体制がスタートしています。利用者支援に迷ったり、悩んだりしながら、ご利用者やご家族の皆様と一緒に、この一年進んで参ります。どうぞ宜しくお願いいたします。(本田)